

## 地域貢献部会

著者	吉山 直樹, 粟生田 友子
雑誌名	看護研究交流センター年報
巻	17
発行年	2006-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10631/329">http://hdl.handle.net/10631/329</a>

## 地域貢献部会

部会長 吉山直樹教授（併任）  
副部会長 粟生田友子教授

地域貢献部会が担当する事業・業務としては、

### 1) 他大学との連携

上越教育大学との連携については、平成16年より両大学の関係者が協議・検討を重ね、平成17年3月16日に「地域貢献に関する連携協議会」について覚書が締結されています。この連携協議会の部会として両大学による地域貢献を目的とする「地域貢献部会」が発足しており、この部会の仲立ちによって上越市を含めた共催で、平成18年1月28日に「食育フォーラム in 上越」が開催されております。

その他には、新潟大学と地域課題研究について、過去3年間にわたり共同研究してきました。新潟工科大学とは、生涯学習・研修支援部会で実施しております一般公開講座について3年間にわたり講師を相互派遣してきましたが今年も共催企画する予定です。

### 2) 自治体・団体・企業との連携

前述のように、上越市との共催の「食育フォーラム in 上越」を開催することができました。

加えて、平成18年度には上越市、両大学、新潟日報、新潟県の5者共催による「上越はつらつ元気塾」の企画が進行中です。年間8回の催し物の開催が予定されていますが、これらの事業を下支える業務を担当するのが本部会となります。

### 3) 地域ネットワーク形成支援

教員・大学院生の研究基盤の強化という観点から、地域の住民・自治体・マスコミ・NPO・企業・医療機関・保健福祉関係施設等との協働作業が可能なネットワーク形成が重層的に存在することが必要と考えられています。これまでも調査研究・臨床実習・公開講座等の活動に関連して個々の研究者に限定されたネットワークは形成されてきたものと考えておりますが、これらが相互に有機化し、時を経るに従ってさらに発展するものであれば、理想的と考えております。

本部会が、この働きを担うために必要な機能は何か、検討を続けたいと思います。

## 「上越はつらつ元気塾」

